

教員の業績

職名		教授	学位	修士(心理学)
氏名	カナ	イナミ カズエ	役職名	
	漢字	伊波 和恵		

1. プロフィール	同志社大学文学部文化学科心理学専攻 卒業 同志社大学文学研究科心理学専攻 博士課程後期課程 満期修了 文京学院大学人間学部助手等を経て、現職。学務部主任、学生相談室主任等歴任。臨床心理士			
2. 主な担当科目	産業カウンセリング、職場の健康心理学、臨床産業心理学、キャリア発達心理学、カウンセリング演習 専門演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ			
3. 専門分野	生涯発達心理学(老年期)・感情心理学・臨床心理学			
4. 主な研究テーマ	成人期以降のメンタルヘルス(学生相談・ライフイベントとしてのお墓選び・心理教育) 勤労者におけるワークファミリーコンフリクト(育児・介護の同時発生状況の現状調査) 認知症者の心理的ケア手法の開発(ライフレビュー・回想・情動活性化)			
5. 主な研究業績	著書	「マネジメントの心理学—産業・組織心理学を働く人の視点で学ぶ」ミネルヴァ書房, 2014 (共編著) 「心理学概論 第2版」ナカニシヤ出版, 2014 (共著) 「人間関係とコミュニケーション」ミネルヴァ書房, 2012(共著) 「ゼロから学ぶ経営心理学入門」学文社, 2011(共著) 「Q&Aでわかる回想法ハンドブック —「よい聴き手」であり続けるために—」中央法規出版, 2011(共編著) 「化粧セラピー」日経BP社, 2010 (共著) 「発達心理学 —人は関わりながら発達する—」ミネルヴァ書房, 2009 (共著) 「心理学概論」ナカニシヤ出版, 2006 (共著) 「ライフレビューブック —高齢者の語りの本づくり—」弘文堂, 2005 (共著) 「人生の終焉—老年学・心理学・看護学・社会福祉学からのアプローチ—」北大路書房, 2005 (翻訳; 共訳) 「顔研究の最前線」北大路書房, 2004 (共著)		
	論文	小規模大学における「学生生活意識調査」活用の研究(2)—学生生活上の困難のタイプと相談希望との関連性—日本学生相談学会第34回大会(成蹊大学), 2016 (共同) 「大学生版発達障害スクリーニング・テスト(DDSTU)」の尺度開発に向けての予備的研究 発達障害傾向、気分ならびに悩みに関する学部間の比較検討を中心に『富士論叢』60, 2016 (共著) 「仕事・育児・介護の三者間のワーク・ファミリー・コンフリクト」『実践女子大学紀要』11, 2015(共著) 「大学生における「メンタルヘルス調査」(1) 5年間のデータによる学年推移分析」『富士論叢』58, 2014 (共著) 「大学生における「メンタルヘルス調査」(2) 精神健康度と悩みの分析より相談サービスを考える」『富士論叢』58, 2014 (共著) 「メンタルヘルス調査」を学生相談に繋げるための研究(3)—日本学生相談学会第32回大会(神奈川大学), 2014 (共同) 「メンタルヘルス調査」を学生相談に繋げるための研究(4)—日本学生相談学会第32回大会(神奈川大学), 2014 (共同) 「ファミリー・ファミリー・コンフリクトを考慮に入れたワーク・ファミリー・コンフリクトに対する 大学生の意識— 産業・組織心理学会第30回大会(北海学園大学), 2014 (共同) 「中高年者の「お墓」観—成人期後期以降のライフ・イベント(10)—」日本健康心理学会第27回大会(沖縄科学技術大学院大学), 2014 (共同)		
6. 所属学会	日本心理学会・日本発達心理学会・日本感情心理学会・日本心理臨床学会・日本健康心理学会 日本老年社会科学会・認知症ケア学会・日本応用心理学会・関西心理学会・日本学生相談学会・組織学会 日本臨床心理士会・東京都臨床心理士会・埼玉県臨床心理士会			
7. 主な社会活動、資格、その他	日本心理学会 認定心理士認定委員会委員 ふじみ野市保健センターならびに家庭児童相談所 嘱託職員(発育発達相談員等) 臨床心理士			